

# 被災家屋 がれき撤去

御崎で  
土砂崩れ

## 玉野高サッカー部員

崩れ、いすれも空き家の2棟が全壊、別の2棟が一部損壊した。御崎連合自治会の西幸則会長(77)は「地域には高齢者が多く、助けは大変ありがた

付けられない。若い力の助けは大変ありがた」と感謝した。  
(近藤哲也)

西日本豪雨で土砂崩れ

け合い、連携して運搬。

御崎では山の一部が

域には高齢者が多く、

れが起こった御崎で20日、玉野高のサッカー部員が、崩れた家屋の

砂ぼこりが舞う中、汗だくになつて作業した。

主将の中野琉成さん(16)は「想像以上にひどい状況で驚いた。部員全員、少しでも地域の役に立ちたい」という気持ちで臨んだ」と話した。

がれきを撤去する奉仕活動をした。

1、2年生24人が参

加。長靴を履いて軍手をはめ、全壊した空き家付近に散乱した柱や屋根瓦、家具などを次々と運び出した。たん

すやベッド、ブロック塀など1人では運べない物については声を掛けられた。



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。